

## 【その他の要件（作業実施方法等）の作成例】

水

（水質検査及び水質検査に用いる機械器具その他の設備の維持管理の方法を記載した書面）

「作業実施方法等」は、厚生労働省告示第 117 号の内容（◎で表記）を含めて作成してください。ただし、告示の文言を必ず含んだ上、点線で示す部分には貴営業所の具体的な作業実施方法も記載する必要があります。その他、注意事項等を（ポイント）に示してありますので参考にしてください。なお、同様の内容を含んでいれば、既存の貴営業所のマニュアル等でも構いません。

### 作業実施方法等

会社名 \_\_\_\_\_

#### I 作業班編成

作業班名	検査実施者	使用する機械器具

ポイント

登録されている監督者を含めてください。1 班体制でも構いません。

#### (例 1)

作業班名	監督者	使用する機械器具
1 班	建築 太郎	誘導結合プラズマ発光分光分析装置 等
2 班	建物 花子	高圧蒸気滅菌器、恒温器 等

#### (例 2)

作業班名	監督者	使用する機械器具
一般試験班	山田 琵留男	pH 計、全有機炭素定量装置
有機物、イオン班	鈴木 美留子	イオンクロマトグラフ ガスクロマトグラフー質量分析計 等
重金属班	高橋 尾瑠人	誘導結合プラズマ質量分析装置 フレイムレスー原子吸光光度計 等

#### (例 3)

作業班名	監督者	使用する機械器具
理化学検査班	水野 太郎	誘導結合プラズマ発光分光分析装置 等
細菌検査班	水川 花子	高圧蒸気滅菌器、恒温器 等

## II 作業手順

### 1 水質検査の方法（試料の採水及び保存に関する事項を含む。）

#### ◎（告示第 117 号 第四の一）

水質基準に関する省令（平成 15 年厚生労働省令第 101 号）の表の上欄に掲げる事項について水質検査を行う場合は、同令に規定する厚生労働大臣が定める方法により行う。

#### ◎（告示第 117 号 第四の二）

水質検査は試料の採取後速やかに行うこととし、試料を保存する場合は、試料の水質が変化しないよう冷暗所に保存する。

#### ポイント

厚生労働大臣が定める方法（厚生労働省告示第 261 号）のうち、実施している検査方法を、別添の一覧表の添付等により明記してください。

### 2 試薬、標準物質の保管方法

#### ◎（告示第 117 号 第四の四）

水質検査に用いる試薬及び標準物質は、施錠できる保管庫等に保管する。

具体的な保管方法

### 3 検査室の整理・清掃の方法、管理責任者の氏名

具体的な整理・清掃方法

管理責任者氏名 ○ ○ ○ ○

#### ポイント

検査室の管理責任者は登録された水質検査実施者でなくても構いません。

### 4 機械器具の点検等の方法、これら記録の保存方法

#### ◎（告示第 117 号 第四の五）

水質検査に用いる機械器具その他の設備について、定期的に点検し、必要に応じ、整備又は修理を行う。また、使用する機械器具その他の設備の点検等の記録を、機械器具その他の設備ごとに整理して保管する。

## 具体的な点検方法

### ポイント

点検頻度も記述してください。

## 5 測定結果報告作成の手順、測定結果の保存方法及び保存責任者の氏名

### 具体的な作成手順

#### ◎（告示第 117 号 第四の三）

水質検査の結果を 5 年間保存する。

保存責任者氏名 ○ ○ ○ ○

### ポイント

測定結果報告作成の手順については、測定後の報告書の作成手順及び報告書の記載内容を、具体的に記述してください。

**(例)**測定終了後、検査結果を所定の報告書に記入し、発注者に提出する。報告書には、採水年月日、試験期間、水質基準値、適否判定等を明記する。この際、控えを作成し、5年間保存する。水質検査結果の保存責任者は測定実施者でなくても構いません。

## Ⅲ 業務を委託する際の手順及び委託した業務の実施状況の把握方法

#### ◎（告示第 117 号 第四の六）

水質検査及び水質検査に用いる機械器具その他の設備の維持管理は、原則として自ら実施する。これらの業務を他の者に委託する場合は、あらかじめ、受託者の氏名等を建築物維持管理権原者に通知するとともに、受託者から業務の実施状況について報告を受けること等により、受託者の業務の方法が告示第 117 号第四の一、二、四及び五に掲げる要件を満たしていることを常時把握することとし、委託する場合にあっても、検査結果の保存は自ら実施する。

（業務を委託しない場合）

**(例)**自社にて実施するので委託はなし。

（業務を委託する場合）

**(例)**基本的に自社にて実施する。ただし、以下のとおり委託する場合がある。

1 委託を受ける者の氏名等

- (1) 委託を受ける者の氏名（法人にあつては名称）：〇〇株式会社
- (2) 委託をする業務の範囲：微量有機物、重金属など（項目を明記してください）等
- (3) 業務を委託する期間：1年間、繁忙期のみスポット契約 等

2 建築物の所有者等への通知の方法

建築物の所有者に対して、事前に文書をもって通知する

3 業務の実施状況の把握方法

実施報告書の確認を行う。

**ポイント**

「委託はなし。」と書かれていても、実際には委託されている場合が見受けられます。少しでも委託する可能性があるなら、委託する場合の書き方で記述してください。

1について：検査項目の中で委託を行う項目について、その検査項目を示してください。別添の一覧表などを活用しても構いません。

2について：1の(1)～(3)を、建築物の維持管理について権原を有する者に、事前に通知する方法を記述してください。

3について：委託を受ける者も、告示第117号第四の一、二、四、五に掲げる要件を満たしている作業方法で行わなくてはなりません。作業が実施されていることを把握する方法を記述してください。

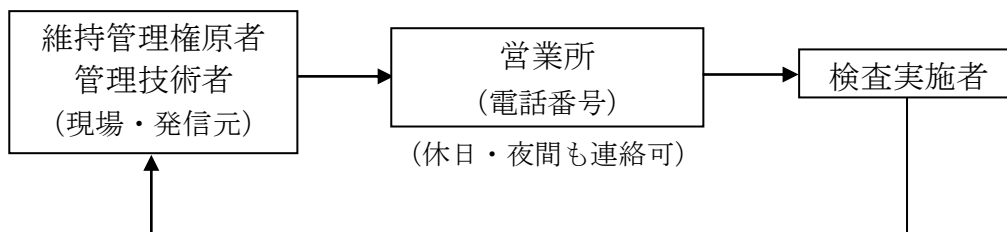
IV 苦情及び緊急の連絡に対する体制

◎（告示第117号 第四の七）

建築物維持管理権原者又は建築物環境衛生管理技術者からの水質検査及び水質検査に用いる機械器具その他の設備の維持管理に係る苦情及び緊急の連絡に対して、迅速に対応できる体制を整備する。

**具体的な連絡体制等**

(例)



**ポイント**

迅速に対応する体制がとられているかを確認するものなので、簡潔に図などで示してください。最後に発信元に戻る体制にしてください。

個人の携帯電話の番号は記載しないでください。

平日と休日・夜間で連絡先が異なる場合は、その連絡先もご記載ください。

別添 水質検査方法一覧表（例）

※ 該当する番号を記入、未実施項目は斜線

※※ 委託する場合○を記入

番号	検査項目	検査方法 ※	検査方法一覧	委託 ※※
1	一般細菌		1.標準寒天培養法	
2	大腸菌		1.特定酵素基質培養法	
3	カドミウム及びその化合物		1. フレームレス—原子吸光光度計による一斉分析法 2. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 3. 誘導結合プラズマ—質量分析装置による一斉分析法	
4	水銀及びその化合物		1.還元気化—原子吸光光度法	
5	セレン及びその化合物		1. フレームレス—原子吸光光度計による一斉分析法 2. 誘導結合プラズマ—質量分析装置による一斉分析法 3. 水素化物発生—原子吸光光度法 4. 水素化物発生—誘導結合プラズマ発光分光分析法	
6	鉛及びその化合物		1. フレームレス—原子吸光光度計による一斉分析法 2. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 3. 誘導結合プラズマ—質量分析装置による一斉分析法	
7	ヒ素及びその化合物		1. フレームレス—原子吸光光度計による一斉分析法 2. 誘導結合プラズマ—質量分析装置による一斉分析法 3. 水素化物発生—原子吸光光度法 4. 水素化物発生—誘導結合プラズマ発光分光分析法	
8	六価クロム化合物		1. フレームレス—原子吸光光度計による一斉分析法 2. フレーム—原子吸光光度計による一斉分析法 3. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 4. 誘導結合プラズマ—質量分析装置による一斉分析法	
9	亜硝酸態窒素		1. イオンクロマトグラフ（陰イオン）による一斉分析法	
10	シアン化物イオン及び亜ヒンアン		1. イオンクロマトグラフ—ポストカラム吸光光度法	
11	硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素		1. イオンクロマトグラフ（陰イオン）による一斉分析法	
12	フッ素及びその化合物		1. イオンクロマトグラフ（陰イオン）による一斉分析法	
13	ホウ素及びその化合物		1. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 2. 誘導結合プラズマ—質量分析装置による一斉分析法	
14	四塩化炭素		1. パージトラップ—ガスクロマトグラフ—質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペース—ガスクロマトグラフ—質量分析計による一斉分析法	
15	1,4-ジオキサン		1. パージトラップ—ガスクロマトグラフ—質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペース—ガスクロマトグラフ—質量分析計による一斉分析法 3. 固相抽出—ガスクロマトグラフ—質量分析法	
16	シス-1,2-ジクロロエチレン及び トランス-1,2-ジクロロエチレン		1. パージトラップ—ガスクロマトグラフ—質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペース—ガスクロマトグラフ—質量分析計による一斉分析法	

番号	検査項目	検査方法 ※	検査方法一覧	委託 ※※
17	ジクロロメタン		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
18	テトラクロロエチレン		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
19	トリクロロエチレン		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
20	ベンゼン		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
21	塩素酸		1. イオンクロマトグラフ法	
22	クロロ酢酸		1. 溶媒抽出 誘導体ヒーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. 液相クロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
23	クロロホルム		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
24	ジクロロ酢酸		1. 溶媒抽出 誘導体ヒーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. 液相クロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
25	ジブロモクロロメタン		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
26	臭素酸		1. イオンクロマトグラフーポストカラム吸光度法	
27	総トリハロメタン (クロロホルム、ジブロモクロロメタン、 ブロモジクロロメタン及びブロモホルム のそれぞれの濃度の総和)		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
28	トリクロロ酢酸		1. 溶媒抽出 誘導体ヒーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. 液相クロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
29	ブロモジクロロメタン		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
30	ブロモホルム		1. パージトラップーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法 2. ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析計による一斉分析法	
31	ホルムアルデヒド		1. 溶媒抽出 誘導体ヒーガスクロマトグラフー質量分析法	
32	亜鉛及びその化合物		1. フレームレスー原子吸光度計による一斉分析法 2. フレームー原子吸光度計による一斉分析法 3. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 4. 誘導結合プラズマー質量分析装置による一斉分析法	
33	アルミニウム及びその化合物		1. フレームレスー原子吸光度計による一斉分析法 2. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 3. 誘導結合プラズマー質量分析装置による一斉分析法	
34	鉄及びその化合物		1. フレームレスー原子吸光度計による一斉分析法 2. フレームー原子吸光度計による一斉分析法 3. 誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 4. 誘導結合プラズマー質量分析装置による一斉分析法	

番号	検査項目	検査方法 ※	検査方法一覧	委託 ※※
35	銅及びその化合物		1.フレイムレスー原子吸光光度計による一斉分析法 2.フレイムー原子吸光光度計による一斉分析法 3.誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 4.誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析法	
36	ナトリウム及びその化合物		1.フレイムレスー原子吸光光度計による一斉分析法 2.フレイムー原子吸光光度計による一斉分析法 3.誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 4.誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析法 5.イオンクロマトグラフ（陽イオン）による一斉分析法	
37	マンガン及びその化合物		1.フレイムレスー原子吸光光度計による一斉分析法 2.フレイムー原子吸光光度計による一斉分析法 3.誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 4.誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析法	
38	塩化物イオン		1.イオンクロマトグラフ（陰イオン）による一斉分析法 2.滴定法	
39	カルシウム、マグネシウム等（硬度）		1.フレイムー原子吸光光度計による一斉分析法 2.誘導結合プラズマ発光分光分析装置による一斉分析法 3.誘導結合プラズマ質量分析装置による一斉分析法 4.イオンクロマトグラフ（陽イオン）による一斉分析法 5.滴定法	
40	蒸発残留物		1.重量法	
41	陰イオン界面活性剤		1.固相抽出ー高速液相クロマトグラフ法	
42	ジェオスミン		1.ノージ・トラップーガスクロマトグラフー質量分析法 2.ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析法 3.固相抽出ーガスクロマトグラフー質量分析法 4.固相マイクロ抽出ーガスクロマトグラフー質量分析法	
43	2-メチルイソボルネオール		1.ノージ・トラップーガスクロマトグラフー質量分析法 2.ヘッドスペースーガスクロマトグラフー質量分析法 3.固相抽出ーガスクロマトグラフー質量分析法 4.固相マイクロ抽出ーガスクロマトグラフー質量分析法	
44	非イオン界面活性剤		1.固相抽出ー吸光度法 2.固相抽出ー高速液相クロマトグラフ法	
45	フェノール類		1.固相抽出ー誘導結合ーガスクロマトグラフー質量分析法 2.固相抽出ー液相クロマトグラフー質量分析法	
46	有機物（全有機炭素（TOC）の量）		1.全有機炭素測定法	
47	pH値		1.ガラス電極法 2.連続自動測定機器によるガラス電極法	
48	味		1.官能法	
49	臭気		1.官能法	
50	色度		1.比色法 2.透過光測定法 3.連続自動測定機器による透過光測定法	
51	濁度		1.比濁法 2.透過光測定法 3.連続自動測定機器による透過光測定法 4.積分球式光電光度法 5.連続自動測定機器による積分球式光電光度法 6.連続自動測定機器による散乱光測定法 7.連続自動測定機器による透過光測定法	